

2021年9月29日

## 肥後銀行企業年金基金による国連責任投資原則（PRI）への署名について

当行の企業年金基金である肥後銀行企業年金基金（理事長 岩立 康也）は、2021年9月13日、国内金融機関の企業年金基金としては初めて、「国連責任投資原則（PRI）」の署名機関となりましたので、お知らせいたします。

当基金は、企業年金基金としてのスチュワードシップ責任をより一層果たすとともに、PRI署名によりESG課題への取り組み姿勢を明確にし、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 1. 国連責任投資原則（Principles for Responsible Investment）について

2006年に国連が提唱した国際的なイニシアチブで、機関投資家に対し、E（Environment：環境）、S（Society：社会）、G（Governance：ガバナンス）の課題を投資の意思決定に取り込むことで、長期的な投資パフォーマンスを向上させ、受託者責任をさらに果たすことを目指しています。



### 2. PRI 6原則

私たちは、投資分析と意志決定のプロセスにESGの課題を組み込みます。

私たちは、活動的な（株式等）所有者になり、その所有方針と所有慣習にESG問題を組み入れます。

私たちは、投資対象の主体に対してESGの課題について適切な開示を求めます。

私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います。

私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。

私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

国際社会から国内地方都市に至るまで、SDGsやパリ協定達成を目指した取り組みが進むなか、肥後銀行は、金融機能を通じた環境および社会の課題解決に積極的に取り組み、持続的な事業成長と企業価値向上の実現を目指しています。

九州フィナンシャルグループでは、2019年に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」への賛同を表明し、2020年に「責任銀行原則（PRB）」に署名しております。今後これらの枠組みを踏まえて、当行におきましてもESG投融資に積極的に取り組んでいきます。

以上

【九州フィナンシャルグループでのこれまでの取り組み】

